



▲乙

南春日町に鎮座する春日神社に伝わる木造能狂言面です。平成22年6月9日に61面のうち53面が国の重要文化財、8面が附古楽面として指定を受けました。傷みが激しいものが多かったため、平成23年度に修復をしました。

能狂言面の大半が室町時代に作られたもので、現実感のある表現をみせる面が多く残っています。中には、金春禅鳳こんぼるぜんぼうによる極きわみのある小面こおもてや赤鶴しゃくつる作の面などの重要作例を含んでいます。能面が定型化される以前の様相がみられるもので、能狂言面の成立を考える上で貴重な資料です。

# 関の文化財探訪

## その23

関の「文化財」を紹介します。

照会先 文化財保護センター ☎ 46-2313



▲鬼神



▲増女

### 豆知識

金春禅鳳（1454～1532）一室町時代後期に活躍した能役者であるとともに、能作者、能楽論の著者としても有名。

極一著名な面打ち師の作であると鑑定されたもの。  
赤鶴（生没年不詳）一室町時代に活躍した近江在住の面打ち師。

### 公開日

刃物まつり開催時の日曜日（春日神社の社務所にて）  
※今年（平成24年）は、10月14日（日）

### アクセス

長良川鉄道・刃物会館前駅から徒歩約5分  
東海北陸自動車道関ICから車で約10分

広報せき No.1609 2012.6.1